

群馬製作所



本工場



矢島工場



太田北工場



大泉工場



伊勢崎工場

■ 各工場の概要

(2007年3月末現在)

工場名	所在地	土地面積 (m ²)	建物面積 (m ²)	従業員数 (人)	主な生産品目
本工場	群馬県太田市スバル町1-1	585,521	319,360	2,937	ステラ、R1、R2、プレオ、サンバー
矢島工場	群馬県太田市庄屋町1-1	549,845	256,864	2,549	レガシィ、インプレッサ、フォレスター
太田北工場	群馬県太田市金山町27-1	43,750	26,841	83	自動車用部品
大泉工場	群馬県邑楽郡大泉町いずみ1-1-1	376,038	179,984	1,485	自動車用発動機(エンジン)、自動車用変速機
伊勢崎工場*	群馬県伊勢崎市末広町100	149,236	58,957	72	自動車用補修部品

*スバルカスタマイズ工房株式会社、富士ハウレン株式会社を含む

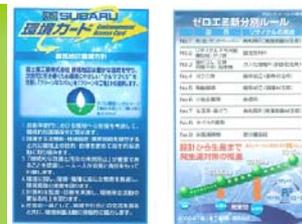
1. 群馬地区*の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、群馬地区では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

一 群馬地区* 環境方針 一 [2002年6月改訂]

富士重工株式会社 群馬地区は豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため環境にやさしい「クルマづくり」を目指し「クリーンなスバル」を「クリーンな工場」から提供します。

- (1) 自動車部門における環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- (2) 関連する法規制・地域協定・業界規範を順守すると共に、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組めます。
- (3) 「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人一人が自覚と責任をもって行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動の更なる向上を図ります。
- (6) 社会の一員として、地域や社会との交流を図ると共に、環境保護活動に積極的に協力します。



*「群馬地区」とは、自動車の生産拠点である群馬製作所を中心に、同製作所に所在するスバル技術本部の本社組織、および、栃木県佐野市に所在するスバル研究実験センター、ならびに、太田市朝日町に所在するスバル部品センターを範囲としたISO14001環境マネジメントシステムの外部審査適用範囲の総称です。

2. 2006年度の主な環境保全活動実績

◇ 地球温暖化防止活動

2006年度は、塗装工程の温度見直し・脱湿装置省エネ改善や、部品洗浄機の省エネ改善などを実施し、CO₂排出量は1990年度比15.7%(前年度比3.2%)低減しました。水資源については配管の調査・改善を行い、1999年度比50.1%(前年度比5.1%)低減しました。また、2007年2月には大泉工場に天然ガスコージェネレーションシステムを2基導入しました。この導入により、2007年度からは14千tonのCO₂削減を見込んでいます。

◇ 廃棄物削減活動

廃棄物削減につきましては、廃棄物が発生する量を削減する活動を進めています。2006年度は、汚泥発生量の抑制などにより、金属くずを除く発生量を2005年度比117ton削減しました。

◇ 公害防止活動

2006年度は、苦情はゼロでしたが、化学物質の流出事故5件と騒音測定の自主基準値超過1件が発生しました。全てゼロを目標に、環境リスクアセスメントや工事業者教育を更に推進していきます。また、塗装工程などから排出されるVOCは、第3次環境ボランティアプラン目標を達成しました。今後、第4次環境ボランティアプランに沿った新しい目標の達成を目指して活動を進めていきます。



大泉工場に導入した天然ガスコージェネレーションシステム

3. 環境監査結果

◇ 環境マネジメントシステムにもとづく内部監査の結果

2006年7月12日～10月23日の期間に、群馬地区全部門を70部署に区分して、全ての部署を対象として内部監査を実施しました。

あわせて、同期間中に環境関連法規を管理する7部署に対して、法令順守監査を実施しました。

是正処置要求事項は85件発生しました。是正処置とともに予防処置も進め、群馬地区全体のレベルアップを図っています。

今後も、内部監査員の力量向上と内部監査の仕組みの改善をさらに進めていきます。



外部審査

◇ ISO14001外部審査結果

2007年1月22日～1月24日の期間に、ISO14001継続審査を受審し、軽微な不適合1件、観察事項5件の指摘を受けましたが、直ちに是正措置を行ったことにより、ISO14001の認証継続が確認されました。

4. 2006年度 地域での主な活動 <社会貢献>

◇ コミュニケーション

◆ 群馬製作所では、地域社会との共生を通じて、豊かな社会づくりに貢献してゆくことを目指して、ふれあい行事、交流会、工場見学受け入れ、あるいは地域清掃活動、地域イベントへの参加など、さまざまなかたちで地域の皆さまとのコミュニケーションを積極的に図っています。ここでは、2006年度の主な活動をご紹介します。



5月 スバル地域交流会で参加した金山清掃活動



7月「おおた夏まつり」にはスバルみこして1,000名参加



10月 矢島工場に35千人集めて開催したスバル感謝祭



年4回開催 スバル地域交流会 花配布活動



年4回開催したスバル地域交流会主催「ふれあいコンサート」(計2,000名招待)



地域の28小学校で開催したスバル環境交流会(計2,282名参加)

- 内容
1. 会社紹介
 2. 今地域に起こっていること(ビデオ9分)
 3. 体験してみよう
 4. スバルの環境への取り組み
 5. 環境クイズ(賞品)

◇ 教育・啓発活動など

◆ 群馬製作所では、職種・階層に応じた教育や訓練を実施しています。また、関係会社・お取引先支援の一環としてさまざまな教育も実施しています。



6月 関係会社・お取引先対象の安全衛生・環境教育(26社26名参加)



7月に開催したスバル地域交流会主催「交通安全講習会」

◇ その他

- ◆ 地域の太田東高校・館林商業高校などに講師を派遣し、自動車技術や社会人としての心構えなどについて講演を行いました。
- ◆ 毎年6月の環境月間に合わせて、所内で販売する飲料用自動販売機の紙コップを「当社グループ環境シンボルマーク」を印刷したものに切り替え、環境保全活動への啓発を図っています。[右図]
- ◆ 12月 近隣地区長交流懇親会を開催。群馬製作所の環境対応状況の説明や、近隣にお住まいの方々のご要望などを伺うため、毎年開催しています。



スバルグループ環境シンボルマークをデザインした紙コップ ※宇都宮製作所・東京事業所にも展開しています。

宇都宮製作所 [航空宇宙カンパニー・エコテクノロジーカンパニー]



本工場



南工場



南第2工場



半田工場

■ 各工場の概要

(2007年3月末現在)

工場名	所在地		土地面積 (m ²)	建物面積 (m ²)	従業員数 (人)	主な生産品目
本工場	栃木県宇都宮市陽南1-1-11	航空宇宙カンパニー	337,802	176,877	2,040	航空機、無人機、宇宙関連機器
南工場	栃木県宇都宮市江首島1388-1					航空機
第2南工場	栃木県宇都宮市宮の内2-810-4					航空機
本工場	栃木県宇都宮市陽南1-1-11	エコテクノロジーカンパニー	171,816	50,614	187	塵芥収集車、風力発電システム、ロボット ^{*2} 等
半田工場	愛知県半田市潮干町1-27		49,041	20,092	176	航空機

※1:現在、当社では「宇都宮製作所」という組織名称はありませんが、本報告書では航空宇宙カンパニー(栃木県宇都宮市、愛知県半田市)とエコテクノロジーカンパニー(栃木県宇都宮市)の総称として「宇都宮製作所」を使用しています。

※2:清掃ロボットなどにつきましては、当社 クリーンロボット部にて取り扱っています。

1. 宇都宮製作所の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、宇都宮製作所では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

一 宇都宮事業所※ 環境方針 一 [2005年6月改訂]

富士重工業(株)宇都宮事業所(航空宇宙カンパニーとエコテクノロジーカンパニー)は、企業活動と地球環境の調和をめざし、環境保全への積極的な取り組みを通して、豊かな社会の実現のため、以下の方針を定めます。

- (1) 環境への負荷の少ない循環型社会実現に寄与するため、製品の開発・設計の段階から生産・物流・サービス、廃棄などの全段階における環境負荷低減に努めます。
- (2) 企業活動の遂行においては、関連する法規制、地域協定、業界基準を遵守するとともに、それらに加えて、自主管理基準を制定して環境保全に取り組めます。
- (3) 環境保全への目的・目標を設定して自主的な活動に取り組み、定期的なレビューを行いながら、継続的な改善につなげます。
- (4) 地球温暖化防止と環境汚染予防の重要性を認識し、地球温暖化物質・環境汚染物質などの排出抑制および廃棄物の減量化、再資源化を図ります。
- (5) 社会の一員として、地域や社会との交流を図ると共に、環境保護活動に積極的に協力します。
- (6) 組織で働く又は組織のために働くすべての人々の環境教育・啓発を通して、一人一人が環境への自覚と責任を持って行動します。
- (7) 環境情報を積極的に公開し、地域や社会との相互理解、コミュニケーションを推進します。

2. 2006年度の主な環境活動実績

◇ 地球温暖化防止活動

航空宇宙カンパニー:半田西工場のエネルギー使用量増加などにより、前年度よりCO₂排出量は約3千ton-CO₂増加しましたが、1990年度比では7.6%の低減となっています。今後は第4次環境ボランティアプラン達成に向けてCO₂低減活動を進めていきます。

エコテクノロジーカンパニー:工場内照明の省エネ化などの取り組みにより、前年度よりCO₂排出量は約900ton-CO₂削減できました。1990年度比では67.7%の低減となっています。今後はエネルギー多量消費設備などの省エネ活動を中心に、さらなる低減を目指します。

◇ 廃棄物削減活動

航空宇宙カンパニー:梱包用廃木材・塗装工程廃液・一般雑介などの増加により、発生量が前年度より445ton増加してしまいました。これらの削減を主体にして、コストを絡めた低減活動を進めていきます。

エコテクノロジーカンパニー:段ボールのリユース、シンナーのリサイクル化拡大などの活動により、発生量は前年度より16ton低減できました。今後は金属くずなどの発生自体を抑制する活動を進めます。

◇ 公害防止活動

2006年度には、宇都宮製作所として苦情を8件*受けました。環境事故防止も含めて「環境パトロール」などを実施しておりますが、防ぐことができませんでした。対策として「環境事故防止管理要領」を発行、その他削減に向けた活動を進めています。

*:苦情の内容につきましてはWebデータ編の9ページをご参照ください。

3. 環境監査結果

◇ 環境マネジメントシステムにもとづく内部監査結果

2006年5月および10～11月の期間に、宇都宮製作所(航空宇宙・エコテクノロジー合同)で計87部署の内部監査を実施しました。その結果、是正処置要求事項は計44件発生しました。是正処置要求を受けた部署は直ちに処置を実施し、EMSの完成度を向上させています。

◇ ISO14001外部監査結果

2006年6月21日～23日の期間に、ISO14001継続審査を受審し、改善が必要な事項16件を受けましたが、軽微なものも含め不適合はゼロで、ISO14001の認証継続が確認されました。

また、2007年度には関係会社の「輸送機工業(株)」を適用範囲とするため、範囲の拡大審査を受審します。



外部審査

4. 2006年度 地域での主な活動

◇ コミュニケーション

◆宇都宮製作所では、社会の一員として周辺地域や社会との共生を図り、ともに繁栄していくことが大切であると認識しています。地域とのふれあい行事や、交流会の開催、クリーン活動、各種募金への積極的な協力など、さまざまなかたちで地域貢献を行っています。ここでは、2006年度の取り組み、活動の一部をご紹介します。

- ・6月、10月 地域の清掃活動に協力(延べ330名参加)
- ・10月 本工場に約10千名を集めて、「富士重工 ふれあい祭り」を開催
- ・10月「うつのみや エコ・プロジェクト2006」に環境PRブースを出展し、宇都宮製作所の環境保全取り組みを紹介
- ・11月 近隣自治会役員(13名)との交流(工場見学、懇親会)

・2006年度より、地域の小学校への環境出前教室を開始しました。今年度は、宇都宮市内のうち、5校の小学5年生(計358名)を対象に地球温暖化に関する教育を行いました。今後、順次対象を拡大していく予定です。

・毎年行っている「緑の募金」活動では、今年10月に県緑化推進委員会に、従業員の善意で集まった310,355円を寄付しました。

・6月の環境月間取り組み行事として、職場ごとの全員参加による環境取り組みチェックを行い、省エネ・省資源・ゼロエミ・公害防止活動の取り組み意識向上を図りました。



10月「うつのみや エコ・プロジェクト」に出展した宇都宮製作所の環境PRブース

◇ 教育・啓発活動など

・宇都宮製作所では、人事階層別教育をはじめさまざまな機会を捉え従業員への環境教育、内部監査員教育、フォローアップ教育などを計画的に実施しています。また、地域の関係会社・お取引先支援の一環として、環境パトロール(2006年度6社実施)などを積極的に実施しています。

・毎年定期的に「環境事例発表会」を開催し、各職場の優秀な改善事例について活動内容や成果の発表を行っています。さらに、各職場では事故の未然防止に向けた管理の徹底と、万一の環境事故発生時に環境影響を最小限に抑えるため繰り返し訓練を実施しています。



お取引先での環境パトロール



毎年開催している環境事故、火災などの緊急事態に備えた訓練

◇ その他

◇ 当社従業員が、宇都宮市内で発生した「小学生殺人未遂事件」容疑者現行犯逮捕に協力 ～～栃木県警より感謝状が授与されました～～



2006年10月:宇都宮市江曾島で、集団登校中の小学生の列に車で突っ込み、止めにはいった宮沢さんをナタで切りつけるなどとした事件で、勇気あふれる行為で容疑者現行犯逮捕に協力した、当社従業員の宮沢さんと当社勤務(派遣社員)の酒匂さんの二人に対して、栃木県警察本部長より感謝状と記念品が贈られました。また、当社としてもこの功績を称え、12月に社長表彰も贈られました。

◇ 宇都宮製作所サイトレポート(2006年8月発行)



埼玉製作所*



産業機器カンパニー*埼玉製作所

産業機器カンパニーの代表製品



ロビンエンジン

発電機

充電式草刈機

(2007年3月末現在)

■ 工場の概要

工場名	所在地	土地面積 (m ²)	建物面積 (m ²)	従業員数 (人)	主な生産品目
産業機器カンパニー*	埼玉県北本市朝日4-410など	143,438	91,942	549	ロビンエンジン、エンジン発電機など

*現在、当社には埼玉製作所という組織名称はありませんが、本報告書では便宜上産業機器カンパニーの生産工場を埼玉製作所と称する場合があります。

1. 産業機器カンパニーの環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、産業機器カンパニーでは環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

一 産業機器カンパニー環境方針 一 [2005年5月改訂]

当カンパニーはエンジンエンジンおよび応用製品に対し、開発から廃棄にいたるまでのすべての活動において、地球環境保全を積極的に推進し、豊かな未来の実現を目指します。

- (1) 開発、設計から物流、廃棄段階における環境負荷の低減を図ります。
- (2) 関連する法規制、地域協定、業界規範を順守するとともに、環境保全への目的・目標を定めて自主的な活動を図ります。
- (3) 「継続的な改善と汚染の防止」が重要であることを認識し、一人一人が自覚と責任を持って行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動の更なる向上を図ります。
- (6) 地域社会との交流を図り、環境保護活動に積極的に協力します。

2. 2006年度の主な環境活動実績

◇地球温暖化防止活動

2006年度は、石油系エネルギーの低減により、CO₂排出量は前年度比167ton削減できました。1990年度比では26%の低減となっています。今後も、工場用エア配管の漏れチェックなどの改善を積み上げて、さらなるCO₂排出量の低減を進めます。

◇廃棄物削減活動

2006年度は、廃油の削減などにより、発生量は前年度より15ton削減できました。2007年度には、金属研磨屑圧縮装置の導入、金属切削油長寿命化などの施策を進めて、さらに発生量の抑制を図ります。

◇公害防止活動

環境事故ならびに苦情につきましてはゼロの継続ができましたが、法規制値・自主基準値超過は3件発生*してしまいました。いずれも適切な是正処置を行い管理しています。今後は、基準値超過・苦情・環境事故すべてゼロを目標に環境リスクアセスメントの実施などを進めていきます。

*: 基準値超過の内容につきましてはwebデータ編の10ページをご参照ください。

3. 環境監査結果

◇環境マネジメントシステムにもとづく内部監査結果

2006年度9月13日～10月4日にかけて、18部署で内部監査を実施いたしました。結果は、不適合1件、推奨項目17件となりましたが、全て是正対策は完了しています。

◇ISO14001外部監査結果

2007年2月5日～6日、ISO14001継続審査を受審しました。結果は、推奨項目10件をうけましたが、不適合はゼロで、ISO14001の認証継続が確認されました。



外部審査

4. 2006年度 地域での主な活動

◇コミュニケーション



工場周辺のクリーン活動
北本市による「ピカピカきたもとおまかせプログラム」へ参加しており、工場周辺の清掃活動を行っています。2006年度は延べ7回合計819名が参加しました。



地域行事への積極的な参加
北本青まつり(北本市主催: 11月4日)に当社従業員とその家族約300人が「ねぶた曳き」に参加しました。今年も大いに盛り上がりました。

◇ 教育・啓発活動など

- ◆ 環境月間の取り組み ―「エコライフ DAY 2006 埼玉」への参加―
「エコライフDAYチェックシート」に基づいて家庭でできるエコライフの実践確認を行いました。チェックは全20項目あり、その内“水は流しっぱなしにしない”、“部屋を出るときは明かりを消した”など、5つの項目で80%以上の方が実践できたという結果が得られました。なお、2007年2月には「エコライフDAY2006冬バージョン」を展開しました。
- ◆ 緊急時対応訓練
各職場で事故や緊急事態が発生した場合でも、環境への影響を未然に防止、あるいは適切な対応が確実にできるようにするため手順に基づいた訓練を行っています。2006年度も、技術部の第1～第3実験課などで緊急時対応訓練を実施しました。
- ◆ 従業員教育
従業員対象の環境教育は、人事階層別教育を中心に新入社員14名をはじめ計57名に実施しました。また、交通安全講話も開催しています。
- ◆ 省エネルギー実施事例発表 関東地区大会に参加【2006年9月26日】
産業機器カンパニー小集団活動サークルのエコロジーサークルが「マンホール湧水の多段利用とコンプレッサー室排熱の暖房利用化」について発表を行いました。なお、本大会には当社群馬地区からも参加しており、3サークルが発表を行っています。



交通安全講話会

5. 環境機器カンパニー 新商品紹介

- ◆ 産業機器カンパニーでは2007年2月に、さらなる人と環境との調和を目指した「スバル充電式草刈機 e-カッターPRO」を発売いたしました。ここでは、本商品を簡単にご紹介させていただきます。



充電式草刈機「e-カッターPRO」※



専用充電器 / 専用バッテリー



※e-カッターPRO

- 3つの「e」 ENVIRONMENT FRIENDLY: 排出ガスゼロ 低騒音で人・地球に優しい
- ELECTRIC : リチウムイオン電池搭載 急速充電可能
- EASY(for user) : 逆回転機能つきで使いやすい

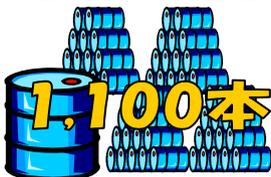
「PRO」 従来の電動式は園芸仕様としてのものでありコンシューマ向けが主でした。
: 本製品は、仕事として扱うユーザーをも満足させる性能を持ったものとしています。

「e-カッターPRO」に搭載されている高性能ブラシレスモーターや制御システムには、スバルインバータ発電機で培った技術が展開されています。また、電気自動車「スバルR1e」の技術を転用した大容量リチウムイオン電池を採用することで従来の二次電池に対して軽量・コンパクト化を図り、環境配慮と実用性の高度な両立を実現しています。

特徴1: 排出ガスゼロ

同クラスのエンジン式刈払機との比較では、プロユースに相應る作業性能はそのままに、「排出ガスゼロ」。地球環境にやさしい商品です。

一般的なエンジン式刈払機(2ストロークエンジン搭載機)に比べ、



※1台あたりの「二酸化炭素排出量」を
年間でドラム缶1100本削減

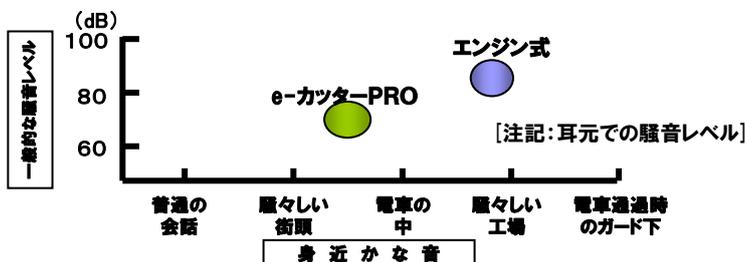
※1台あたりの「HC+NOx排出量」を
年間で18Lポリタンク5個削減

[注記: 1日4時間で年100日使用とした場合の数値です]



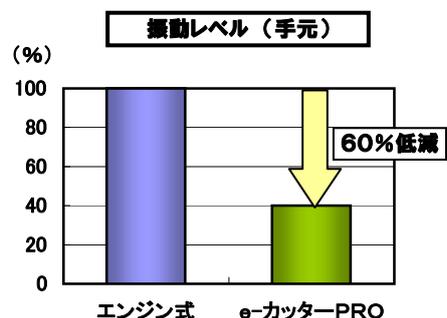
特徴2: 低騒音

「電動化」により騒音レベルを大幅に低減。作業場所や時間帯にとらわれない高い作業環境を実現しました。



特徴3: 低振動

滑らかな回転による振動レベルの低減は作業者への負荷を大幅に軽減しています。



東京事業所



←2006年4月に発行した
東京事業所サイトレポート

■ 東京事業所の概要

(2007年3月末現在)

工場名	所在地	土地面積 (m ²)	建物面積 (m ²)	従業員数 (人)	主な生産品目
東京事業所	東京都三鷹市大沢3-9-6	157,568	94,354	943	自動車用エンジン、トランスミッションの研究開発・実験、スバル製品の研究

1. 東京事業所の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、東京事業所では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

— 東京事業所 環境方針 — [2003年9月制定]

富士重工業株式会社東京事業所は、豊かな自然を守り次世代に引き継ぐため、環境にやさしい「クルマづくり」を目指し、「クリーンなパワーユニット」を提供します。

環境方針を実現するための運営基準を次のように定める。

- (1) 自動車部門における環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- (2) 関連する法規制・地域協定・業界規範を遵守すると共に、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組みます。
- (3) 「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人一人が自覚と責任をもって行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動の更なる向上を図ります。
- (6) 社会の一員として、地域や社会との交流を図ると共に、環境保全活動に積極的に協力します。



2. 2006年度の主な環境活動実績

◇地球温暖化防止活動

2006年度は、ボイラーの小型化・低電力照明器具の導入などの省エネ施策を実施しましたが、開発部門実験設備の高稼働などの要因により、CO₂排出量は前年度比14.7ton増加しました。ただし、1990年度比では23.1%低減しています。今後は、実験設備の高稼働を前提とした省エネ施策を進めていきます。

◇廃棄物削減活動

廃棄物の発生量につきましてもCO₂同様開発部門の高稼働などにより、前年度比1.9ton増加しました。ただし、今年度の目標値比では6.3ton少ない量で収まっています。これは一般雑用紙や事務用紙の削減などの効果によるものです。

◇公害防止活動

2006年度には、油脂類の流出による構内環境事故が2件*発生してしまいました。対策として手順及びチェックシートの改訂などの対応を図りました。

*：環境事故の詳細につきましては、WEBデータ編10ページをご参照ください。

3. 環境監査結果

◇環境マネジメントシステムにもとづく内部監査結果

2006年10月16日～11月8日の間に、事業所内全部署（18区分）を対象に内部環境監査を実施しました。結果、不適合4件、観察項目46件が抽出されました。不適合については是正処置を行い、その効果の確認までを実施しました。

◇ISO14001外部審査結果

2007年1月17日～19日に、ISO14001更新審査を受審し、不適合3件・改善推奨事項27件の結果となりました。ただし重大な不適合はありませんでしたので、ISO14001の認証継続が確認されました。

4. 2006年度 地域での主な活動

東京事業所では、社会の一員として地域や社会との共生を通して、豊かな社会づくりに貢献していくことを目指し、事業所見学を通じた小学校対象社会科授業のお手伝い、地域とのふれあい行事、交通安全教室の開催などを積極的に行っています。ここでは2006年度の主な活動をご紹介します。



8月 近隣の方にもご参加いただき開催した納涼祭



11月 小学生事業所見学会
(小学5年生の社会科授業支援)



2007年3月 実験棟の「優良防火対象物
認定書」交付式(三鷹消防署より)



コンプライアンス教育の様子



緊急事態訓練



三鷹警察白バイ隊による安全運転教室

本社※



新宿サイト



大宮サイト

■ 本社の概要

(2007年3月末現在)

工場名	所在地	土地面積 (m ²)	建物面積 (m ²)	従業員数 (人)	事業内容
新宿サイト	東京都新宿区西新宿1-7-2	1,600	7,241	520	スバル製品の企画、マーケティングおよび販売ならびにコーポレート部門
大宮サイト	埼玉県さいたま市北区宮原町1-1-2	84,853	4,255	39	

※「本社」とは、スバル製品の企画、マーケティングおよび販売ならびにコーポレート部門を行う新宿サイトと、スバルパーツ製品のマーケティングおよび販売、ならびにスバルITシステムの開発および構築を行う大宮サイトを範囲としたISO14001環境マネジメントシステムの外部審査適用範囲の総称です。

1. 本社(新宿サイト・大宮サイト)の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、本社(新宿サイト・大宮サイト)では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

一 新宿サイト・大宮サイト 環境方針 — [2003年7月制定]

常に環境と事業活動の深い関わりを認識し、地球と社会と人によさしい商品と環境づくりに努め、豊かな未来の実現を目指します

- (1) 新宿サイトにおける、商品の企画・開発・設計・製造・販売・サービス・廃車などの各段階に関わるオフィス活動での環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- (2) 関連する法規制・地域協定・業界規範を順守すると共に、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組めます。
- (3) 「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人一人が自覚と責任をもって行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- (6) 社会の一員として、地域や社会との交流を図るとともに、環境保護活動に積極的に協力します。



2. 2006年度の主な環境活動実績

◇ 地球温暖化防止活動

CO₂の排出量は、従来からのこまめな省エネ活動の積み重ねで、2006年度は524.2ton-CO₂となり、前年度比4.7%の削減ができました。2006年度も、クールビス活動などを導入し、省エネに取り組みました。

◇ 廃棄物削減活動

2006年度は、販売促進物件(カタログなど)の排出量は56.3tonとなり、前年度比45%の低減が図れました。なお、全量リサイクルを継続しています。また、一般可燃物・雑介などの排出量は19.5tonとなり、前年度比4.4%の低減が図れました。今後も年1%以上の低減に取り組んでいきます。

3. 環境関連法規制違反、行政指導、苦情などについて

該当事項はありませんでした。

4. 環境監査結果

◇ 環境マネジメントシステムにもとづく内部監査の結果

2006年10月14日～19日の期間に、本社地区全部門を32部署に区分して、全ての部署を対象として内部監査を実施しました。是正処置要求事項は45件発生しました。是正処置の実施とともに、内部監査結果報告書により本社地区内に水平展開を図り、全体のレベルアップを図っています。

◇ ISO14001外部審査結果

2006年12月6日～8日、ISO14001更新審査を受審し、観察事項16件の指摘を受けましたが不適合はゼロでISO14001の認証継続が確認されました。

5. 2006年度地域での主な活動

本社地区での活動の一部をご紹介します。



6月に開催した大宮サイトISO14001 2006年度キックオフ式



7月に開催した業務改善事例発表会の様子
毎年行い、優秀事例の水平展開を実施しています



8月に開催したISO14001内部監査員養成教育



12月ISO14001更新審査
不適合ゼロで認証継続が確認されました

国内関係会社

富士重工業は、国内の関係会社のなかで環境負荷が多い製造関係および輸送関係の6社による「国内関連企業部会」を組織しています。この部会は、年2回以上定期的に開催して企業間の活動事例の共有化、水平展開を図り、効率的で合理的な環境活動を推進しています。

■ 各企業の概要

(2007年3月末現在)

企業名	所在地	従業員数(人)	主な生産品目
富士ロビン(株)	静岡県沼津市大岡35	268	農林業機器・エンジン・消防ポンプ・付属用補用品の製造、修理、販売
輸送機工業(株)	愛知県半田市上浜町102	80	航空機部品、クレーン車の製造、販売
富士機械(株)	群馬県前橋市岩神町2-24-3	406	自動車部品・産業機械・農業用トランスミッションの製造、販売
(株)イチタン	群馬県太田市新道町74	201	自動車・産業機械用鍛造品の製造、販売
桐生工業(株)	群馬県桐生市相生町2-704	129	スバル特装車の製造・スバル用部品の物流管理
(株)スバルロジスティクス	群馬県太田市朝日町558-1	153	自動車およびその部品の梱包、出荷、陸送業、倉庫業、整備業、保険代理店業

1. 主な部会活動実績

2006年度は、8月4日と11月6日に部会を開催しました。この部会では、・廃棄物の削減・地球温暖化防止・省エネの目標が達成できたことを確認しました。

◇8月開催の通算第12回部会の主な報告・討議内容

- ・当社からの報告事項：総合環境委員会概要、第4次環境ボランティアプラン、公害防止と発生時の対処など。
- ・各社の2005年度環境保全活動実績および2006年度計画について

◇11月開催の通算第13回部会の主な報告・討議内容

- ・各社2006年度上期の実績および年度の見込みについて
- ・省エネ好事例の紹介、など

*2007年5月11日に通算第14回部会が開催され、2006年度は・廃棄物の削減・地球温暖化防止・省エネの各項目で目標達成できたことを確認しました。実績データにつきましては、webデータ編20ページをご参照ください。

2. 主な環境活動実績

◇環境マネジメントシステム構築

国内関連企業部会6社はすでにISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、教育、訓練、特定施設の法令順守活動、内部監査など、汚染の未然防止と環境負荷の低減に向けた取り組みを進めています。なお輸送機工業につきましては2006年8月にISO14001認証を返上し、2007年度に当社宇都宮製作所のISO14001認証範囲に参入するための準備を進めています。

◇地球温暖化防止活動

温暖化防止活動では、CO₂排出量は2006年度6社合計で26,949ton-CO₂となり、前年度と比べ4.3%削減しました。

◇廃棄物削減活動

廃棄物削減活動では、処理方法の見直しやきめ細かな分別活動の推進により、各社合計で埋立て廃棄物のゼロレベルを達成しています。(2006年度埋立量実績30ton、前年度比-29ton)

※各社のデータにつきましては、webデータ編20～21ページに掲載しております。

3. 環境関連法規制違反(自主基準値超過)、行政指導など

◇環境関連法規制違反・自主基準値の超過につきまして

◆(株)イチタン：2007年1月の騒音測定値のうち、①工場西側境界夜間騒音測定値が51dbと騒音法規制値の50dbを超過、②スポーツプラザ駐車場側敷地境界騒音測定値が52dbと同法規制値の50dbを超過しました。対策として、①は、3月に騒音発生源であるコンプレッサーを静音型に交換し、②については、夜間の扉開放規制を実施し、引き続き監視しています。なお、本件に関して騒音苦情などは受けておりません。

◆(株)スバルロジスティクス：2007年2月の水質測定値のうち、BOD(生物化学的酸素要求量)の値が、8.6mg/ℓと自主基準値の8mg/ℓを超過しました。本件につきましては引き続き原因調査と管理を続けています。なお、翌3月の測定値は4mg/ℓと自主基準値以内となっています。

◆上記以外の測定結果、他4社の測定結果につきましては、環境法規制違反・自主基準値の超過はありませんでした。

◇行政指導・勧告などにつきまして

◆2006年度、6社とも行政からの指導はありませんでした。

◇PCB含有機器などの保管状況につきまして

◆富士ロビン(株)、輸送機工業(株)、(株)イチタン、桐生工業株の各社で、管理台帳と共に適正に保管しています。

4. 環境に関する苦情・事故など

◆環境に関する苦情につきましては、2006年度受けておりません。

◆輸送機工業(株)において下記の通り1件の構内事故が発生しました。他5社では事故の発生はありませんでした。

：2006年12月14日、金属スクラップ回収業者がコンテナ内にたまっていた油を誤って構内路面に飛散させ、雨水と共に、終末排水処理槽に流入させるという構内油流出事故が発生しました。発見後、処理槽にたまった表層含油水40ℓをくみ取り除去。対策として①屋外のスクラップコンテナに蓋取り付け、②屋内用スクラップコンテナの製作、③回収作業時の社員立会い実施を図りました。

5. 環境監査結果

◇ ISO14001外部審査結果

各企業ごとに審査を受審し、軽微な不適合、観察事項の指摘を下記のように受けましたが、直ちに是正措置を行っております。

企業名	実施日	不適合	観察事項
富士ロビン(株)	2006年11月14～16日	4	59
*輸送機工業(株)につきましては、30ページ2.主な環境活動実績をご参照ください			
富士機械(株)	2006年8月22～24日	4	0
(株)イチタン	2007年1月23～26日	2	7
桐生工業(株)	2006年10月18～19日	0	7
(株)スバルロジスティクス	2006年11月7～10日	0	2

(株)スバルロジスティクスでは、今回の審査で福岡納整センターを認証範囲に加えました。(範囲の拡大審査)
次回2007年度の審査では、土岐納整センターを認証範囲に加えることにより、全事業所認証取得完了を目指しています。

(各企業のISO14001環境マネジメントシステム認証登録年月、審査機関などのデータにつきましてはWebデータ編21ページをご参照ください)

6. 2006年度 地域での主な活動

◇ コミュニケーション

◆ 各社共、会社周辺の美化、清掃活動を定期的的に実施しております。ここでは、その一部をご紹介します。



桐生工業(株)

(株)スバルロジスティクス
事業所周辺の清掃活動



(株)イチタンの関係会社の九州イチタン(大分県宇佐市院内町櫛野895)では、2006年6月に従業員90名が参加して、会社周辺の道路の草刈を行いました。

◆(株)スバルロジスティクスと(株)イチタンの2社は、スバル地域交流会※活動にも参加しています。

※スバル地域交流会:富士重工とその取引先54社からなる組織で、太田市と周辺住民との相互交流、並びに地域発展を図り「住みよい街」づくりに貢献することを目的として、さまざまな地域貢献活動を行っています。
活動内容はホームページでもご覧いただけます。[http://www.chiiki-kouryuukai.com/index.html]

7. 環境教育、啓発、緊急時対応訓練実施状況など

◆ 各社共、環境に関する教育や、さまざまな緊急事態に備えた訓練を実施しています。

企業名	実施日	内容	参加人数	実施日	内容	参加人数
富士ロビン(株)	9月5日	ISO14001に関する教育	6名	11月7日	タンク、メッキ設備緊急訓練	26名
輸送機工業(株)	1月10日	劇毒物取り扱い教育	11名	-	-	-
富士機械(株)	4月3日	環境基礎教育	6名	11月29日	ガス漏れ緊急対応訓練	25名
(株)イチタン	10月19日	環境内部監査教育	38名	12月15日	防災緊急対応訓練	131名
桐生工業(株)	6月26日	ISO14001内部監査員教育	2名	12月13日	防災緊急対応訓練	110名
(株)スバルロジスティクス	10月1日	環境経営方針について	127名	11月23日	防災緊急対応訓練	118名

上記表では実施項目の一部を紹介しており、これ以外にも教育・訓練を実施しています。



桐生工業(株)

防災緊急対応
訓練実施



(株)スバルロジスティクス

◆(株)スバルロジスティクスの環境改善

モータープール内水路の木製側壁が腐食し、水流の妨げになっていたため、2005年度から順次改善を進めてきました。



改善

